

令和 5 年度
久留米市教育施策要綱



感染症を防止し、差別や偏見を許さない

久留米市教育委員会

未来の学びが
未来の教育へ
つながる



はじめに

久留米市は「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」「活力あふれる中核都市 久留米」の3つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めています。

また、この都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とした「久留米市新総合計画第4次基本計画」を策定し、持続的発展に向けた都市づくりを進めているところです。

こうした中、令和元年度に「久留米市教育に関する大綱」が策定されました。大綱は「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」を基本理念とし、学校教育の基本方針「「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育」と社会教育の基本方針「生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり」を掲げ、施策の方向性を定めています。

あわせて、久留米市教育委員会では、第4次基本計画及び大綱に掲げる基本理念と目指す都市の姿の実現に向けて、令和2年度から7年度までを計画期間とする「久留米市教育振興プラン」を策定し、「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に、施策目標の達成に取り組んでいきます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえて、学校と教育委員会が連携し、児童生徒が心と体の健康を保持しながら意欲的に学習ができる教育環境の確立に向けて取組を進めています。

加えて、教育行政の推進にあたっては、市長部局を始めとする関係機関と連携しながら「誰もが生き生きと生活ができ、活躍できる共生のまちづくり」に向けて取り組んでいく必要があります。

久留米市教育委員会では、これらの基本的な考え方を踏まえ、教育における具体的な施策方針として「令和5年度久留米市教育施策要綱」を定めました。

今後、本要綱に基づいて、市民の理解と協力を得ながら、教育施策・事務事業に取り組んでいきます。

目次

第1章

教育施策の重点課題と対応方針	1
----------------	---

第2章

教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進	3
重点1 学びをつなぐ授業	4
重点2 楽しい学校	7
重点3 笑顔の先生	9
重点4 協働する学校・家庭・地域	10
その他の施策	12

II 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進	14
文化政策の推進	15
2 歴史遺産の保存・活用	17
3 スポーツの推進	19
4 市民の自己学習の場としての図書館づくり	21

III 教育施策の重点事業

	22
--	----

第3章

教育行政資料	60
--------	----

1 学校教育

総括的な考え方

令和5年度は、令和2年3月に策定した「久留米市教育に関する大綱」と「久留米市教育振興プラン」の後半の期間に入る4年目に当たります。

プラン3年目の令和4年度は、教育ICTの活用や外国語教育の充実等において成果が見られた一方で、学力向上に向けた授業改善や不登校対応等の取組では課題が見られました。

このような状況を踏まえ、プランに掲げた4つの重点である「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」の実現に向けて、これまでの課題改善や目標達成のための取組を着実に進めます。

ICT活用による教育の充実

本市では、国のGIGAスクール構想に基づいて整備した、児童生徒1人1台のコンピュータ端末と高速大容量の校内情報通信ネットワーク等のICT環境を活用した教育活動を行っています。取組にあたっては、ICTを効率的・効果的に活用しながらプランに掲げる上記の4つの重点の実現に向けて取組を着実に進めることで、個別最適な学びと協働的な学びを実践し、教育の質の向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成に努めます。

より良い教育環境、快適で安全安心な学校施設の整備、教職員の働き方改革

児童数の減少に伴う小学校の小規模化と学校施設の老朽化の課題に対応するために改定した「久留米市立小学校小規模化対応方針」に基づき、小学校統合の取組を進めることによって、より良い教育条件・教育環境の整備を図ります。

また、久留米市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び支出の平準化を図りながら、学校施設の老朽化対応や安全衛生環境の確保を計画的に進めます。

さらに、教職員の働き方改革や教職員研修の充実を通して、教職員の指導力の向上を図ります。

2 社会教育

総括的な考え方

「久留米市教育に関する大綱」の基本理念である、「“学び”が人をつくり、“地域”が人を育み、輝く未来を創る」の実現に向け、多様な主体との連携を図りながら、学びと活動の機会の提供及び環境づくりに取り組みます。

生涯学習の推進

すべての市民があらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向け、校区コミュニティ組織や社会教育関係団体等と連携しながら、学習や体験、活動の機会と場の提供を図るとともに、学び合い、協力し合い、地域社会を支える人づくりを目指した生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。

また、市立図書館は、市民の学びと情報の拠点として、快適な読書空間の提供と図書館機能の充実を図るとともに、子どもが読書を通じて心豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着の推進に取り組みます。

スポーツの推進

久留米アリーナなどのスポーツ拠点施設等を最大限活用して、多くの人々が集い、スポーツを通じて市民が愛着や誇りを感じることができるよう、魅力ある事業を戦略的に進めるとともに、久留米市を対外的にアピールするMICE誘致に取り組みます。

また、世界を目指すジュニアアスリートに対する支援を行うとともに、市民が主体的にスポーツと触れ合う新たな仕組みを提供し、年齢、性別や障害の有無に関わらず、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備することで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツ活動の活性化を目指します。

文化財の保存・活用

久留米市が有する歴史遺産を次世代へ継承するために、地域や関係機関とも協働しながら、継続的な保存・管理を行います。文化財の周知普及、学校・社会教育や地域・観光振興など、歴史文化のまちづくりを進め、久留米の新たな魅力を生み出します。

その取り組みの一つとして、昨年は「久留米入城400年」記念事業の雅楽公演会や高良山シンポジウムを開催しました。今年度も引き続き城下町めぐりイベントを開催するなど、市民の歴史的関心をさらに高めるような魅力ある事業を展開します。

第2章 教育行政の主要施策の展開

I 「生きる力」を育み、元気と笑顔があふれる子どもを育てる教育

教育振興プランの推進

久留米市教育振興プラン（令和2～7年度）は、第1期から第3期までの久留米市教育改革プランの成果と課題を踏まえ「ともに未来を創る「くるめっ子」の育成」を目標に掲げています。

これまでの取組のさらなる充実・定着・拡大を基本方針として「学びをつなぐ授業」「楽しい学校」「笑顔の先生」「協働する学校・家庭・地域」を重点とし、施策を進めていきます。

また、4つの重点を支える土台として「人権・同和教育」「特別支援教育」「キャリア教育」を推進し、各重点の具体的な施策の展開が一貫性と関連性を持ったものとなるよう努めます。

なお、事業実施にあたっては、教育振興プランの重点に沿った施策とその評価指標を設定し、効果を検証していきます。

教育振興プランの施策と評価指標

重点	No.	施策	評価指標
重点1 学びをつなぐ 授業	1	「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善	全国学力・学習状況調査（小6・中3）において全国平均正答率を上回る。 県学力調査（小5・中1・中2）と全国学力・学習状況調査において、県・全国を100とした場合の得点率が増加する。
	2	個に応じた教育活動の充実	「授業の内容がよくわかる」と答える児童生徒の割合が増加する。
	3	教育ICT活用・情報教育の推進	授業にICTを活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答する教員の割合が増加する。
	4	外国語教育の充実	「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国平均以上になる。
重点2 楽しい学校	1	不登校対応の徹底	不登校の出現率が全国平均以下になる。
	2	いじめ問題対応の徹底	いじめ認知件数が全国平均以上になる。
	3	学校安全への支援	日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数が減少する。
	4	仲間づくりの視点を大切にした活動の充実	「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答える児童生徒の割合が増加する。

重点	No.	施策	評価指標
重点3 笑顔の先生	1	教師力向上への支援	「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童生徒の割合が増加する。
	2	業務改善への支援	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答える児童生徒の割合が増加する。
重点4 協働する学校 ・家庭・地域	1	学習習慣定着への支援	「家庭等で1時間以上学習する」「家で計画を立てて勉強している」と答える児童生徒の割合が増加する。
	2	地域学校協議会提言の実働化への支援	地域学校協議会提言及び地域学校協働活動の取組の達成率が増加する。
	3	中学校区人権のまちづくりへの支援	「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助ける」と答える児童生徒の割合が増加する。

重点1 学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】

- ① 「くるめ授業スタンダード」を活用しながら、現在の学びを過去や未来の学びとつなぐ、友達や地域の方々など他者とつなぐ、各教科等の学びとつなぐ「主体的・対話的で深い学び」となるように毎日の授業を改善していきます。
子どもが基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、「自ら学びたくなる、わかる・できる喜びを味わう」授業づくりを進めます。
- ② ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを進めるとともに、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく個に応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育を充実させます。
- ③ 情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な情報活用能力を育成する教育活動を充実させます。
- ④ 多様な国籍や民族などの背景をもつ人々の文化や自国文化の理解を深め、コミュニケーション力を育てる外国語教育を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 1 小・中学校学力・生活実態調査事業	学校教育課	児童生徒の学力等の実態を把握し、分析・考察した結果をもとに授業改善と教員の指導力向上を図る。	計 16,909 小 9,308 中 7,601
重点事業 2 小学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	児童の学力の保障と向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全小学校を対象にした放課後学習会の支援、教育シンクタンクの招聘による助言等を実施する。	4,100
重点事業 3 中学校くるめ学力アップ推進事業	学校教育課	生徒の学力向上を目指し、中学校の確かな学力の育成を図るために、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善に取り組む。また、特色ある教育実践校の指定、全中学校を対象にした補充学習の支援、教育シンクタンクの招聘による助言等を実施する。	5,596
重点事業 4 小・中学校特別支援教育支援員活用事業	学校教育課	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を全小中学校に配置する。	計 131,498 小 107,249 中 24,249
重点事業 5 発達障害支援事業	学校教育課	児童の発達に関する相談・支援窓口として子ども発達相談教室を設置する。また、ADHDの子どもへの包括的治療プログラムを行う「くるめSTP」事業への補助を行う。	4,510
重点事業 6 外国語指導助手活用事業	学校教育課	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続を目指すとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）を配置する。	計 73,083 小 36,176 中 36,907
重点事業 7 小・中学校英語教育充実事業	学校教育課	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。	13,319

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 8 教育 ICT 活用事業	教育 ICT 推進課	国の GIGA スクール構想に基づき、全ての学校に整備した ICT 環境の効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びを実施することで、教育の質の向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成に努める。	242,808
小・中・特別支援学校図書活動の推進	教職員課	小・中・特別支援学校の学校図書室の充実を図るため、学校司書を配置する。	計 140,551 小 99,761 中 38,528 特 2,262
学校事務支援事業	教職員課	小・中・特別支援学校に事務補助職員を配置し、学校事務の支援を行う。	計 93,104 小 62,172 中 29,304 特 1,628
教育活動支援事業	教育 センター	教職員の教育活動を支援するため、授業づくりサポートの充実、図書室の整備、教育情報の提供、理科教育の推進、教育論文の執筆支援及び奨励を図る。	2,158
教職員校内研修事業	学校教育課 教職員課	教職員の実践的な指導力を高めるため、教職員の研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して助成を行う。	計 3,769 小 1,307 中 718 特 1,744
特別支援教育進路指導事業	学校教育課	久留米特別支援学校高等部の作業学習や現場実習への支援を行うことにより、卒業後の進路獲得を目指した進路指導の充実を図る。	4,415
就学相談事業	学校教育課	障害のある幼児児童生徒の学校生活の充実を目的として、就学に際して個々の幼児児童生徒に適した教育支援の方策を検討するための就学相談会を実施する。	1,336
外国人等児童生徒サポート事業	学校教育課	日本語理解が困難な外国人等の児童生徒が在籍する学校に語学能力を有するサポーターを派遣し、学習支援等を行う。また、支援が必要な学校に翻訳機を配備する。	3,556

重点2 楽しい学校【安全・安心な学び舎】

- ① 「くるめアクションプラン」を活用しながら、いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応を徹底し、誰もが安心して学べる学校生活を目指します。
- ② 児童生徒が自分で自分の身を守ることを意識し、自ら安全な行動ができる力を育成する学校安全の取組や、心理及び福祉の専門的な知識経験を有するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による児童生徒の困りごとの解消に取り組みます。また、児童生徒が学校生活を安全かつ快適に送ることができるように、学校施設の計画的な整備に努めます。
- ③ 自分のよさや仲間のよさが実感できる学校になるように、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を進め、人権・同和教育の取組を充実させます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業9 教育支援総合対策事業	学校教育課	学校だけでは解決が困難ないじめの問題、不登校等の児童生徒・保護者・学校が抱える様々な問題に対して、教育相談体制の充実・強化を図り、一人ひとりに対するきめ細かな支援を行う。	6,846
重点事業10 小学校不登校対応総合推進事業	学校教育課	不登校や不登校傾向等の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。	20,870
重点事業11 中学校不登校対応総合推進事業	学校教育課	不登校及び不登校傾向にある生徒に校内の居場所を作り、生徒指導、進路指導及び学習支援を行うため、中学校の校内教育支援教室に支援員を配置する。	36,047
重点事業12 教育支援教室らるご久留米運営事業	学校教育課	不登校の児童生徒に対し、校外のらるご久留米において、一人ひとりの状況に配慮した様々な体験活動や学習支援などを行い、心のエネルギーの回復を図ることによって、社会的自立に向けた支援を行う。	8,444

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 13 生徒指導充実事業	学校教育課	中学校で生徒指導等に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図ることができる環境を整備する。 また、中学校生徒指導連絡協議会に対して活動助成を行う。	22,872
重点事業 14 スクールカウンセラー活用事業	学校教育課	学校の教育相談機能を高め、いじめ問題の解決や不登校等の児童生徒の支援、及び発達障害等の教育上特別の支援を必要とする児童生徒の学校生活へのより良い適応を促すとともに、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図るため、心理に関する専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置する。	計 16,984 小・特・高 7,156 中 9,828
重点事業 15 スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図るため、福祉分野の諸制度等に関する専門知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。	—
重点事業 16 学校施設の整備充実事業	学校施設課	児童生徒が安全安心で快適な環境で学び、また、多様で新しい学習活動に対応した施設の整備を進めるため、学校施設の改修を計画的・効率的に行う。また、老朽化した建物の耐力度調査を行う。	計 108,267 小 13,939 中 94,328 (繰越含む)
重点事業 17 学校施設の長寿命化事業	学校施設課	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政負担の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水・便所改修、LED照明の改修等を行い、施設の長寿命化を図る。	計 721,996 小 345,932 中 374,418 高 1,646 (繰越含む)
生徒指導連絡協議会助成	学校教育課	問題行動等を防止し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導連絡協議会や学校警察連絡協議会に対して活動助成を行う。	計 148 小 109 高 39

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
学校施設維持管理 事業	学校施設課	学校施設における機能の維持改善を図るとともに、段差解消機の整備やエレベーターの更新など、バリアフリー化のための施設整備を行う。	計 229,901 小 113,234 中 77,836 特 34,481 高 4,350 (繰越含む)
学校空調機整備事 業	学校施設課	中学校の特別教室等に空調機を新設するための設計業務を行う。また、耐用年数を超えている管理諸室等の既設空調機の更新を行う。	計 156,176 小 80,600 中 75,576 (繰越含む)

重点3 笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

- ① 教職員のキャリアステージに応じて求められる資質・能力を整理した育成指標に基づく教員研修の充実や教育活動の支援を通して、教員一人ひとりの授業力や学級経営力、保護者や地域との連携や使命感の向上に努めます。
- ② 教職員の働き方改革、及び学校の役割と家庭・地域の役割を明確にすることを通して、教師が本来の業務に専念できるための業務改善を進めます。
また、校務支援システムの整備や久留米市部活動方針の適切な運用、学校を支える専門スタッフとの協働などを通して、教員が笑顔で子どもに向き合うための環境づくりとワーク・ライフ・バランスの確保を推進します。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 18 教職員研修事業	教育 センター	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施する。	15,904
重点事業 19 学校における働き 方改革推進事業	教職員課	勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、教員業務支援員の配置など勤務環境整備のための支援を充実させることで、教職員の多忙化解消を図る。	12,239

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 20 学校 ICT 環境整備 事業	教育 ICT 推進課	教育イントラネットや児童生徒の情報を管理する校務支援システムの運用を行う。 また、次期校務環境の構築を行い、教育情報の安全かつ適正な管理運用や教員の働き方改革の推進につなげる。	349,245
教科等教育研究推 進事業	学校教育課	教職員の実践的指導力の向上を図るため、国・県・市の研究指定校、教職員研修や教科等の研究を推進する団体やグループに対して補助金の交付を行う。	3,719
中学校部活動活性化 事業	学校教育課	中学校体育連盟・中学校文化連盟に対して運営費や大会経費等に係る財政支援を行う。また、持続可能な部活動の運営ができるように部活動指導員を配置するとともに、さらに、部活動指導員及び外部指導者の事故等に対応するためのスポーツ安全保険に加入する。	22,645
教育課題研究事業	教育 センター	本市の教育課題を解決するため、調査研究に取り組み、市主催研修等を通して、その成果を普及する。	446
小・中・特別支援学 校 ICT 環境整備事 業	教育 ICT 推進課	校務用パソコンの整備や図書システムの安定的な運用を行う。 また、次期校務環境の構築に併せて校務系と学習系の各ネットワークの統合に向けた対応を行う。	153,681

重点 4 協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

- ① 学校を支えるスタッフや授業支援への地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣の定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、家庭と連携して健やかな成長を支える生活習慣づくりへの支援などを進めます。
- ② 小中学校に設置している地域学校協議会による提言の実働化への支援を図り、地域と学校の協働活動を一層充実させます。また、国の動向を踏まえ、コミュニティ・スクールモデル校事業を実施し、コミュニティ・スクールへの移行に向けた組織や機能のあり方についての検討を進めます。

- ③ 全中学校区に設立されている人権のまちづくり推進協議会による誰もが安心して暮らすことができる心豊かなまちづくりへの支援を図り、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりを一層充実させます。

主な事業の概要

小学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業2）、中学校くるめ学力アップ推進事業（重点事業3）は、重点4に含まれます。

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 21 小・中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業	学校教育課	学校・家庭・地域が協働して行う体験活動や教育活動を充実することで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともに学校づくりを推進するための補助金を交付する。	計 24,259 小 18,007 中 6,252
重点事業 22 人権教育・啓発推進事業	学校教育課	自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け、豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、全中学校区毎に学園コミュニティ及び地域コミュニティが連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。	6,600
P T A団体助成	教育部総務	家庭教育と学校教育との連携を深め、児童生徒の健全育成を図るため、久留米市小・中学校P T A連合協議会に対して補助金を交付する。	2,920
社会人権・同和教育事業	学校教育課	社会人権・同和教育を推進し、差別のない地域社会の実現をめざすため、社会人権・同和教育研修等による団体等の育成及び進路保障を図るための事業を実施する。	12,020
小・中・高等学校人権・同和教育事業	学校教育課	人権・同和教育の振興・充実に資するため、部落差別をはじめとする様々な差別の現実に学び、教職員の人権についての認識を深めるとともに、その研究成果を広く啓発・普及する。	1,900
学校人権・同和教育事業	学校教育課	差別をなくす意志と実践力を持った児童生徒を育成し、社会に存在する差別意識を解消するため、久留米市人権・同和教育研究協議会の育成、質問教室の実施、就園・就学・進学奨励金等の給付を行うなど、基本的人権を尊重する意識を醸成する教育活動を推進する。	20,463

その他の施策

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)									
重点事業 23 食育プログラム研究推進事業	学校教育課	子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成するため、栄養教諭等研究会や食育推進校のPTAに対する助成を行う。	390									
重点事業 24 医療的ケア対応事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、小中学校及び久留米特別支援学校に看護師を配置し、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。	計 61,925 小 10,892 中 11,620 特 39,413									
重点事業 25 中学校美術教育振興事業	学校教育課	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むため、中学校1年生の生徒が久留米市美術館等の企画展・常設展を鑑賞するためのバスの借り上げを行う。	2,646									
重点事業 26 学校規模対策事業	学校教育課	小学校の小規模化と学校施設の老朽化の観点を踏まえ、より良い教育条件・教育環境の整備を図ることを目的に、久留米市立小学校小規模化対応方針に基づき、小学校の統合を進める。	233									
学校訪問看護支援事業	学校教育課	医療的ケアを必要とする児童生徒の保護者が、学校活動において訪問看護制度を活用する際の補助を行う。	4,228									
中学校生徒会支援事業	学校教育課	中学校の生徒会の交流を促進し、生徒会活動を活性化することで、生徒による学校運営の円滑化と課題の解決を図る。	88									
久留米市奨学金	学校教育課	<p>経済的な理由により高等学校等の修学が困難な者に対し奨学金を給付する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入学一時金(円)</th> <th>月奨学金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>20,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 高校生等奨学給付金の支給要件を満たさない者の月奨学金は7,000円</p>		入学一時金(円)	月奨学金(円)	公立	20,000	5,000	私立	30,000	7,000	17,876
	入学一時金(円)	月奨学金(円)										
公立	20,000	5,000										
私立	30,000	7,000										

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
就学援助事業	学校保健課	小中学校に通学する児童生徒で、経済的な理由により就学が困難な者の保護者に対し、給食費や学用品費の一部などを支給する。	計 556,035 小 300,100 中 255,249 特 686
定期健康診断	学校保健課	児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康の保持増進を図る。	計 46,853 小 26,195 中 14,705 特 1,941 高 4,012
歯科保健指導事業	学校保健課	学校歯科医の指導のもとに歯科衛生士を小学校に派遣し、2年生を対象に歯磨指導を行う。	930
学校保健会助成	学校保健課	各学校の保健施策を支援することにより、学校保健の普及発展を図る。	2,416
学校給食の充実	学校保健課	学校給食運営の効率化とともに、安全衛生管理の徹底や、給食施設・設備等の更新・修繕を行い、安全安心な学校給食を提供する。	計 689,920 小 629,904 中 32,849 特 27,167

Ⅱ 生涯学び、活躍できる環境を整え、心豊かな市民生活をおくることができるまちづくり

1 生涯学習・社会教育の推進

市民が生涯にわたり自己実現を図っていくことができるよう、生涯学習の振興に努め、全市的な生涯学習ネットワークの確立を図るとともに、青少年健全育成の推進、家庭・地域社会の教育力の向上、社会人権・同和教育の推進など、地域に根ざした市民主体の生涯学習・社会教育の推進に取り組みます。また、利用者が安全で安心して利用できるよう生涯学習施設等の改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 27 地域生涯学習振興事業	生涯学習推進課	校区等において実施される委嘱学級や土曜塾など生涯学習事業に対して、財政支援や指導者の養成などの各種支援を行う。また、地域の課題解決に向け主体的に活動できる人材の育成を図る。	68,630
重点事業 28 体験活動推進事業	生涯学習推進課	少年の翼、アドベンチャーキャンプ、わくわく遊友体験などの体験活動事業を通じ、団体生活の楽しさや友情の深まりなどを体験する場を創出し、子どもたちの自主性・協調性・創造性を育む。	4,752
社会教育団体支援事業	生涯学習推進課	LL ネットコアくるめや子ども会連合会、女性の会婦人会連絡協議会をはじめとする各社会教育団体の活動振興のため、財政支援や活動助言、指導等の各種支援を行う。	21,281
生涯学習センター活用事業	生涯学習推進課	各地域における生涯学習センターを広く活用した各種講座等を実施することにより、市民の生涯学習の推進を図る。	5,831
生涯学習センター維持補修事業	生涯学習推進課	えーるピア久留米をはじめ、各地域の生涯学習センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	340,864
そよ風ホール維持補修事業	生涯学習推進課	そよ風ホールについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	43,907
城島総合文化センター維持補修事業	生涯学習推進課	城島総合文化センターについて、経年劣化に応じた維持補修を行う。	48,613
社会人権・同和研修事業	生涯学習推進課	同和問題をはじめとする様々な人権問題に関して「なるほど人権セミナー」等の啓発事業を実施するほか、人権・同和教育を推進するリーダーの養成、校区コミュニティセンター等における人権学習の振興を図る。	1,888

文化政策の推進【参考】

久留米市では、平成18年度より施行した久留米市文化芸術振興条例に基づく「久留米市文化芸術振興基本計画（令和2～7年度）」により、総合的・計画的に文化政策を推進しています。

その中では「市民が主役の楽しい文化創造都市・久留米」を理念とし、久留米シティプラザや美術館などの文化施設や暮らしの身近な場所で、様々な文化芸術を鑑賞したり、活動したりする人が増え、心豊かな市民生活を創造するまちを目指す姿としています。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
次代を担う子どもたちへの取組	文化振興課	芸術家が学校へ出向き、子どもたちが文化芸術に直接触れる機会等を提供する「学校への芸術家等派遣事業」等を実施する。	3,732
音楽によるまちづくり	文化振興課	久留米市は、これまで多くの優れた音楽家を輩出し、市民の音楽活動も盛んであることから、この音楽文化に着目し「くるめライブチャレンジ」「邦楽振興事業」等を実施し、音楽の持つ力によって、人とまちを元気にしていく取組を進める。	12,285
多様な人材の育成	文化振興課	将来を嘱望される芸術家を表彰する「芸術奨励賞」の実施等による芸術家の発掘・育成や、芸術家と市民や学校とを繋ぎ事業調整を行う「文化芸術コーディネーター」の養成など、文化振興を図っていくために必要な様々な人材の育成に努める。	976
市民の文化芸術活動の支援	文化振興課	文化芸術の各分野で団体等が実施する事業に対して、広報の支援や助成等を行うとともに、国や県、その他団体等が行う助成事業を積極的に活用し、市民の文化芸術活動の支援を図る。	17,135
文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と振興	文化振興課	市民に上質で多様な文化芸術を鑑賞する機会や、市民が自ら活動し発表する場を提供するとともに、市民の様々な文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。 入場者数 (R5.1 現在) ザ・グランドホール 87,562 人 久留米座 12,799 人 Cボックス 3,127 人	53,889
久留米シティプラザ			

事業名		担当課	事業概要	予算額 (千円)
	久留米市美術館	文化振興課	<p>「とき・ひと・美をむすぶ美術館」を目指し、前身である石橋美術館の歴史と伝統を踏まえながら、新たな魅力にあふれ、市民に親しまれる美術館づくりを進める。</p> <p>入場者数 (R5.1 現在)</p> <p>久留米市美術館本館 2階 19,184 人</p> <p>石橋正二郎記念館 25,555 人</p>	314,968
	その他の文化施設等	文化振興課	<p>市内には、上記以外にも優れた文化施設が複数あり、そのような施設の活用や連携、適正な維持管理に努める。</p>	—

2 歴史遺産の保存・活用

久留米市が有する歴史遺産の適正な保存とその活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立っています。また、地域活性化のために、地域と連携で事業を展開し、交流人口の増加に努めます。

令和4年度は、久留米市初の雅楽公演会を開催するなど、交流人口の増加を図りました。令和5年度も、ホームページやLINE等の情報発信ツールをより活用し、高い効果が期待できる事業を継続して展開します。

あわせて、歴史遺産の保存と活用の方針及び具体的な取組を示した文化財保存活用地域計画に基づき、市内に所在する歴史遺産の保存と活用を進めていきます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 29 歴史資料保存活用事業	文化財保護課	地域文化を知り、創造し、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図る。 また、六ツ門図書館展示コーナー等での展示を通じて資料の活用を図り、郷土の歴史に関する市民意識の高揚と、地域文化の継承に役立てる。	8,035
重点事業 30 筑後国府跡歴史公園整備事業	文化財保護課	久留米市を代表する歴史遺産である筑後国府跡を、市民が身近に歴史を感じることが出来る場所として、歴史公園の保存整備を図る。 歴史学習や地域活動の場を提供し、市民の郷土に対する愛着心を高めるとともに、歴史遺産の価値と魅力を未来に向けて継承する。	321,457
重点事業 31 歴史ルートづくり事業	文化財保護課	市内に数多く存在する歴史遺産を整理・集積し、歴史的背景に基づくストーリーの設定や周知イベントの実施により、地域の魅力を発信する。 同時に、拠点となる歴史スポット等の整備を行い、安全で魅力的な環境づくりを推進するとともに、交流人口の増加を目指す。	4,062
発掘調査事業	文化財保護課	国民の共有財産である貴重な埋蔵文化財を保護するため、開発により現状が維持できない場合は、記録保存を目的とした発掘調査を行う。 国及び久留米地域の歴史文化の正確な理解に市民を導き、郷土愛の醸成に寄与し、地域の文化活動やまちづくりのための活動を支援する。	150,488

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
埋蔵文化財 センター事業	文化財保護 課	発掘調査に伴う出土品や記録類の集中管理及び調査研究を行う。 また、市民の多様な文化活動の展開を支援するため、発掘調査成果を公開する展示会や体験学習などの普及活動を実施する。	2,345
歴史的建造物保存 整備事業	文化財保護 課	市内に残る歴史的価値のある建造物の調査・保存整備・活用を図り、市民へ価値を周知するとともに、その魅力を内外に向けて広く発信できる人づくりとまちづくりを推進する。	2,561
史跡等環境整備活 用事業	文化財保護 課	地域の特性を生かした「歴史の広場」の整備を進め、史跡の適正管理とともに、説明板の設置により、まちづくりの素材としても活用する。また、文化財の周知、普及活動を積極的に展開する。	12,288
坂本繁二郎生家活 用事業	文化財保護 課	坂本繁二郎生家は、久留米城下町に唯一残る武家屋敷を復元したもので、活用事業として体験講座等を実施し、貸室の利用促進に努める。 また、歴史のプロムナードとして、関係施設等と連携を図り、地域の回遊性を向上させる。	322
文化財保護団体等 育成事業	文化財保護 課	文化財の管理、普及活動及び無形民俗文化財の継承を行っている団体に対し補助金の交付を行うことで、文化財の保護を図る。	1,418
文化財施設維持補 修事業	文化財保護 課	老朽化した大善寺旧庫裡の屋根・壁の修繕、同建物の自動火災報知設備の改修、埋蔵文化財センターの空調機と文化財収蔵館（1階のみ）の照明設備の改修を行い、文化財の保存と活用を図る。	21,751

3 スポーツの推進

久留米市のスポーツ分野における基本的な方向性を示した「久留米市スポーツ推進計画」（令和2年度～7年度）の基本方針である「スポーツ参画人口の拡大」「スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実」「スポーツを通じた、活力があり絆の強い社会の実現」を目指すことで、スポーツの推進を図ります。

また、県南の中核都市にふさわしいスポーツ事業・コンベンション・施設整備・組織づくりの推進に向け、久留米アリーナをはじめ施設の有効活用を図ります。

併せて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設の老朽化対応や機能向上を目的とした計画的な改修を進めます。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 32 MICE誘致推進事業	体育スポーツ課	オリンピック・パラリンピック事前キャンプのノウハウを活かし、久留米アリーナ等を活用した大規模スポーツ大会等の誘致を推進する。	1,333
重点事業 33 市民スポーツ推進事業	体育スポーツ課	① 市民が主体的にスポーツと触れ合う仕組みを提供し、広くスポーツの恩恵を享受できるような環境を整備し、ひいては市民のスポーツ実施率向上を目指す。 ② 国際大会等での活躍が期待できる久留米市ゆかりのジュニアアスリートが競技に専念できる環境整備の強化を図る。	7,799
令和6年度全国高等学校総合体育大会	体育スポーツ課	令和6年度に北部九州4県で開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のハンドボール競技が久留米市で行われることから、円滑な大会運営に資するため、実行委員会の開催や大会のPR等を行う。	1,800
スポーツ大会振興事業	体育スポーツ課	全国・九州規模のスポーツ大会を誘致開催し、身近に見ていただくことで、スポーツを始めるきっかけをつくるとともに、市民のスポーツ技術向上と競技スポーツの振興を図る。	4,700
スポーツ交流推進事業	体育スポーツ課	スポーツを通じて、近隣市町村及び市民間の交流を推進し、お互いの友好親睦を深めることで活動の広域化を図り、市民スポーツを振興する。	4,962

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
スポーツ推進委員 養成事業	体育スポーツ課	スポーツ推進委員を対象としたスポーツ全般に関する知識・技術・指導力を高めるための研修会や講習会を実施し、地域スポーツの振興のための実技指導及び助言を行うコーディネーターとしての資質向上を図る。	8,354
(公財)久留米市スポーツ協会助成事業	体育スポーツ課	すべての市民が手軽にスポーツに参加することを目指し、各種大会への参加奨励、各競技団体が開催するスポーツ大会への支援や指導者の育成などを(公財)久留米市スポーツ協会を通じて実施し、市民の生涯スポーツの普及推進を図る。	56,552
保健体育施設費	体育スポーツ課	市内体育施設を適切に管理運営することで、市民サービスの向上及び安全安心な利用につなげる。 ＜主な内容＞ ・体育施設の指定管理業務	239,772
体育施設維持補修事業	体育スポーツ課	スポーツ施設の老朽化に伴い、計画的に補修・改修を行うことによって、利用者のサービス向上と社会体育施設の安全性を確保する。 ＜主な内容＞ ・市野球場バックスタンド屋根天井改修	59,900

4 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担うため、多様な図書資料や情報の収集・整理・保存を行い、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な活用を図ります。

また、各地域館や図書施設とのネットワークの促進、石橋文化センターや久留米市美術館など隣接施設・関係団体等との連携を深め、利用者ニーズに応じたサービスの充実を図ります。加えて、利用者が使いやすい図書館づくりのため、中央図書館の施設・機能の整備を行います。

主な事業の概要

事業名	担当課	事業概要	予算額 (千円)
重点事業 34 子どもの読書環境整備事業	中央図書館	① 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画の推進 第4次久留米市子どもの読書活動推進計画(令和2年度～7年度)に基づき、子どもが心豊かな生活を送れるよう本との出会いと読書習慣の定着を推進する環境を整備する。 ② ブックスタート事業 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長を願うブックスタート事業を実施する。	4,890
重点事業 35 図書館整備事業	中央図書館	① 図書館施設・機能の整備充実 安全で快適な読書空間の提供と図書資料・情報の確保、積極的な情報発信に努めることで、図書館機能の充実を図り、市民の生涯学習ニーズに対応する。令和5年度は、スマートフォンやパソコン等の端末から電子書籍の貸出、返却等ができる電子図書館サービスの導入を行う。 ② 福祉サービスの提供と市民との協働 ボランティアとの協働による録音・点字図書の製作や活用、対面朗読など福祉サービスを充実する。 ③ 図書館来館困難者へのサービス提供 高齢や障害、図書館遠隔地など、図書館を利用しにくい環境にある市民に対し、移動図書館巡回や団体貸出、有料宅配などのサービス提供に努める。	117,899

Ⅲ 教育施策の重点事業


○ 学校教育

重点事業No.	事業名
1	小・中学校学力・生活実態調査事業
2	小学校くるめ学力アップ推進事業
3	中学校くるめ学力アップ推進事業
4	小・中学校特別支援教育支援員活用事業
5	発達障害支援事業
6	外国語指導助手活用事業
7	小・中学校英語教育充実事業
8	教育 I C T活用事業
9	教育支援総合対策事業
10	小学校不登校対応総合推進事業
11	中学校不登校対応総合推進事業
12	教育支援教室らるご久留米運営事業
13	生徒指導充実事業
14-1	スクールカウンセラー活用事業（小・特別支援学校・高校）
14-2	スクールカウンセラー活用事業（中学校）
15	スクールソーシャルワーカー活用事業
16	学校施設の整備充実事業
17	学校施設の長寿命化事業
18	教職員研修事業
19	学校における働き方改革推進事業
20	学校 I C T環境整備事業
21	小・中学校コミュニティ・スクール（久留米版）推進事業
22	人権教育・啓発推進事業
23	食育プログラム研究推進事業
24	医療的ケア対応事業
25	中学校美術教育振興事業
26	学校規模対策事業

○ 社会教育

重点事業No.	事業名
27	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）
28	体験活動推進事業（少年の翼事業）
29	歴史資料保存活用事業
30	筑後国府跡歴史公園整備事業
31	歴史ルートづくり事業
32	MICE誘致推進事業
33	市民スポーツ推進事業
34	子どもの読書環境整備事業
35	図書館整備事業

重点事業 1

事業名	小・中学校学力・生活実態調査事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 16,909 千円	R4 予算 16,909 千円	R5 予算 16,909 千円
事業目的	児童生徒の学力・生活実態を把握し、それに基づく指導方法の工夫改善を行うことで、教職員の指導力の向上を図るとともに児童生徒の学力の向上を目指す。				
事業内容	<p>(1) 小学校及び中学校において、学力・生活実態調査を行う。</p> <p>○小学校 (R5.4) 第2～4学年 国語・算数・質問紙</p> <p>○中学校 (R5.4) 第1学年 国語・数学・質問紙 第2学年 国語・数学・英語・質問紙</p> <p>(2) 調査結果をもとに、各学校の学力向上の取組の見直し及び授業改善、保護者・地域への基本的な生活習慣・学習習慣確立のための協力依頼を行う。</p>  <div style="text-align: center;"> <p>学力実態調査事業</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>標準学力検査の実施</p> <p>【小学校】 2～4年 国語・算数</p> <p>【中学校】 1年：国語・数学 2年：国語・数学・英語</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生活実態調査の実施</p> <p>学習状況や生活習慣等 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の学習時間 ・授業が分かる ・朝食を摂る </div> </div> <p>↓</p> <p>学力等の現状把握と分析</p> <p>○学力及び生活習慣等の現状把握 ○課題とその要因の分析 ○学力向上に向けた方策の検討</p> <p>↓</p> <p>各学校におけるプランの策定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「つくる力」「つなぐ力」「つらぬく力」の育成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学習習慣の定着 (家庭・地域との協働)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>○学びをつなぐ授業 ○楽しい学校 ○協働する家庭・学校・地域</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>教員の指導力向上 (日常的な授業改善)</p> </div> </div> <p>↑</p> <p>学力基盤づくり (補充学習や少人数授業等の実施)</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	調査対象学年における質問紙「授業がよく分かる」に対する肯定的回答の割合が増加する。	区分	R3 実績	R4 実績	R5 目標値
		小2	86.2	87.7	それぞれの回答の割合が増加
		小3	88.1	87.0	
		小4	90.8	91.2	
		中1	89.4	80.9	
		中2	84.0	75.3	

重点事業 2

事業名	小学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算		
			7,831 千円	4,748 千円	4,100 千円		
事業目的	児童の学力の保障と向上を目指し、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得を図る学習指導、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、学習習慣の定着を図る取組を推進する。						
事業内容	<p>① 全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣することで、基礎的・基本的な学習内容と学習習慣を定着させる。</p> <p>② 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組や、非認知能力育成の観点から学力向上を図る取組等、特色のある教育活動を主体的に行う学校を公募で指定することで、学習指導や授業づくりの改善を図る。</p> <p>③ 学校現場で生かせる研究実践についての知見を有する学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘することで、市立小学校や市教育委員会への指導助言を行う研修会を実施し、全小学校において理論が裏付けられた説得力のある実践を推進する。</p>						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>小学校くるめ学力アップ推進事業</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%; background-color: #e0f0ff;"> <p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%; background-color: #e0f0ff;"> <p>特色ある教育実践指定</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の習得及び知識・技能を活用し問題を解決するための思考力・判断力・表現力を育成、学びに向かう力を涵養</p> </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 33%; background-color: #e0f0ff;"> <p>教育シンクタンク招聘</p> <p>学校現場で生かせる研究実践についての知見を有する学識経験を市教育委員会のシンクタンクとして招聘</p> </td> </tr> </table> <p style="font-size: 2em; color: yellow; margin: 10px 0;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0ff; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>久留米市の児童の学力の保障と向上</p> </div> </div>					<p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣</p>	<p>特色ある教育実践指定</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の習得及び知識・技能を活用し問題を解決するための思考力・判断力・表現力を育成、学びに向かう力を涵養</p>
<p>基礎基本と学習習慣の定着</p> <p>全小学校に対して学生、地域ボランティアを派遣</p>	<p>特色ある教育実践指定</p> <p>基礎的・基本的な知識・技能の習得及び知識・技能を活用し問題を解決するための思考力・判断力・表現力を育成、学びに向かう力を涵養</p>	<p>教育シンクタンク招聘</p> <p>学校現場で生かせる研究実践についての知見を有する学識経験を市教育委員会のシンクタンクとして招聘</p>					
事業目標 成果指標	県学力調査（小5）において県を100とした場合の得点率（標準化得点）、全国学力・学習状況調査（小6）において全国を100とした場合の得点率（標準化得点）が上昇する。	教科区分	R3 実績	R4 実績	R5 目標値		
		県学力調査 小5 国語	93.2	92.9	標準化得点が100以上		
		県学力調査 小5 算数	93.8	94.8			
		全国学力調査 小6 国語	97.8	96.7			
		全国学力調査 小6 算数	98.2	98.0			

重点事業3

事業名	中学校くるめ学力アップ推進事業			担当課	学校教育課		
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算		
			3,388 千円	6,434 千円	5,596 千円		
事業目的	生徒の学力向上を目指し、学校における授業改善を促し、生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と学習習慣の定着を図る。						
事業内容	<p>① 放課後学習会等を支援するために、学生及び地域から学習ボランティアを募り、各中学校に派遣する。</p> <p>② 校長のリーダーシップのもと、学校の伝統や強みを活かした取組を主体的に行う学校を公募で指定し、学力向上につながる特色ある教育を実践する。</p> <p>③ 理論に裏打ちされた説得力のある実践を進めるため、学校現場で活かせる研究実践を行う学識経験者を市教育委員会のシンクタンクとして招聘する。</p>						
	<div style="text-align: center;"> <p>久留米市教育シンクタンク</p> <p>中学校くるめ学力アップ推進事業</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学習習慣定着事業 学生や地域のボランティアを派遣し補充学習を実施（全10校）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>放課後学習会 学習コーディネーターや学習指導員を配置し、放課後等に補充学習を実施（全7校）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>特色ある教育実践指定校 特色ある教育実践指定校の教育実践（2校）</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px; border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>学習内容の習得・学習習慣の定着 学力向上への企画・推進 組織体制の確立・人材育成</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="display: inline-block; background-color: #FFC0CB; padding: 5px; margin: 0 10px;">確かな学力の育成</div> </div>						
事業目標 成果指標	県学力調査(中1・2)と全国学力・学習状況調査(中3)において、県を100とした場合の得点率(標準化得点)が上昇する。	学年	R3 実績		R4 実績		R5 目標値
			国	数	国	数	
		中1	95.8	94.4	94.8	95.5	標準化得点が前回より上昇する。
		中2	96.7	97.5	93.9	90.6	
中3	95.4	94.8	97.1	94.0			

重点事業 4

事業名	小・中学校特別支援教育支援員活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			98,665 千円	114,048 千円	131,498 千円
事業目的	通常学級及び特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒がより良い学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員を小中学校に配置する。				
事業内容	<p>① 特別支援教育支援員を学校に配置し、教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して、学習活動のサポートなどを行う。また、授業中に教室を離れる児童生徒の居場所の確認や安全確保、肢体不自由のある児童生徒の移動介助、児童生徒の感情の高ぶりを落ち着かせる支援等を行う。</p> <p>② 特別支援教育支援員の役割や障害種別の特性理解について、講話等による研修を行い、個別の支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	特別支援教育支援員研修会を受講した支援員の研修内容への満足度の維持	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		100%	100%	100%	

重点事業 5

事業名	発達障害支援事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			2,185 千円	4,142 千円	4,510 千円
事業目的	発達障害を有する児童生徒に対する効果的・総合的な支援体制を整備する。				
事業内容	<p>① 子ども発達相談教室の設置</p> <p>子ども発達相談教室を設置し、小学校に在籍する児童を対象にした相談への対応や関係機関とのコーディネートを行う。</p> <p>また、通常学級に在籍し、かつ幼児期に幼児教育研究所で支援を受けていた新1年生を対象に、子ども発達相談を実施し、切れ目のない支援の充実を図る。</p> <p>② くるめサマー・トリートメント・プログラム（STP）の支援</p> <p>ADHDのある子どもへの包括的な治療プログラムである「くるめSTP」事業の運営補助を行う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>子ども発達相談教室</p> <p>小学生（原則、通常の学級在籍）を対象に</p> <p>医学的な診断や教育的判断の相談 指導・支援方法について学校へ助言 関係機関へのコーディネート</p> <p>小学校</p> <p>特別支援学校 ↔ 特別支援学級 ↔ 通級による指導 ↔ 通常の学級</p> <p>久留米市立小学校における学びの場</p> <p>連携（指導内容、指導方法等）</p> <p>くるめサマー・トリートメントプログラム（STP）</p> </div>				
事業目標 成果指標	子ども発達相談教室の相談件数（45件以上）の増加	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		45 件	43 件	45 件以上	

重点事業 6

事業名	外国語指導助手活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			73,083 千円	73,083 千円	73,083 千円
事業目的	小学校外国語活動・外国語科と中学校の外国語科との円滑な接続を目指すとともに、外国語教育の充実を図り、外国語によるコミュニケーション能力の基礎や素地の育成を図る。				
事業内容	<p>① 中学校の全学年全学級に対し、外国語の年間授業時間 140 時間のうち 25 時間以上 A L T を派遣する。</p> <p>② 小学校 3～4 年に対し、外国語活動の年間授業時間 35 時間のうち 10 時間以上、小学校 5～6 年に対し、外国語の年間授業時間 70 時間のうち 28 時間以上に A L T を派遣する。</p> <p>③ 教育 I C T のオンラインを活用したバーチャル英語授業を実施する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校外国語指導助手活用事業</p> <pre> graph TD A[小・中学校外国語指導助手活用事業] --> B[外国語指導助手 (ALT) の派遣] B --> C[中学校の外国語科担当教員との外国語科の授業、小学校中高学年の担任との外国語活動及び外国語科の授業、校内研等の講師、児童生徒への補充指導] C --> D[小学校 中学校 特別支援学校] D -.-> E[【小学校の外国語科・外国語活動】 ○ 3・4年の各学級で年間授業時数 35H に対して 10H 以上派遣 ○ 5・6年の各学級で年間授業時数 70H に対して 28H 以上派遣 ○ 特色ある教育実践指定校に対して上記以上の時数及び学校が求める他教科・領域等の授業 ○ バーチャル英語授業の実施] D -.-> F[【中学校の外国語科】 ○ 1～3年の各学級で、外国語科年間 140H に対して 25H 以上派遣 ○ バーチャル英語授業の実施] E <--> 連携 F </pre> </div>				
事業目標 成果指標	「CEFR A1」相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合が全国平均以上	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 : 47.2% 全国 : 47.0%	市 : 50.0% 全国 未発表	全国平均以上	

重点事業 7

事業名	小・中学校英語教育充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			11,818 千円	13,653 千円	13,319 千円
事業目的	生徒の英語運用能力の向上を図るため、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測定するスコア型検定を実施し、その結果を授業改善に活かすための取組を行う。				
事業内容	<p>① 中学校2年生を対象に、4技能（読む、聞く、書く、話す）を測る調査（GTEC 検定）を実施する。また、この調査結果を授業改善に活かすための英語授業改善プロジェクトにおいて、生徒の英語力向上に向けた取組を提案する。</p> <p>② 英語授業改善プロジェクトにより、外国語教育における小学校と中学校の連携を図り、校種間のスムーズな接続を図る。</p>				
事業目標 成果指標	「CEFR A1」相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合が全国平均以上	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 47.2% 全国 47.0%	市 50.0% 全国 未発表	全国以上	

重点事業 8

事業名	教育 ICT 活用事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			390,523 千円	342,017 千円 (補正含む)	242,808 千円
事業目的	<p>国のGIGAスクール構想に基づき、各学校に整備したコンピュータ端末や校内情報通信ネットワーク等のICT環境の効果的な活用を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを実施することによって、教育の質の向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成に努める。</p>				
事業内容	<p>1 ICT 環境の運用保守及び拡充</p> <p>(1) 専門業者等による ICT 環境の運用保守</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘルプデスクの設置、情報通信ネットワーク及び端末等の運用保守 ○1人1アカウントの管理運用 <p>(2) 情報通信ネットワーク・端末の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通教室及び特別教室の Wi-Fi 環境の拡充 ○データ回線の強化 ○授業支援ソフト・学習ドリルソフトの活用 ○印刷環境など ICT 関連環境(機器)の充実 <p>2 学校支援・活用促進</p> <p>(1) ICT 活用に係る推進体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内情報管理者、ICT 活用コーディネーター、ICT 推進リーダーの配置 ○ICT 推進リーダー連絡協議会等の設置や各担当者への研修の実施 ○デジタル教材等の共有や各種サポートの実施 <p>(2) くるめ GIGA スクール推進協議会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT モデル校事業 (先進的な実践事例の構築・発信、共通教材作成等) ○Google 社と連携した職員研修、資格取得促進 ○デジタル教材など教育 ICT 環境に係る検討・情報共有 <p>(3) Google for Education パートナー自治体プログラムへの参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT 活用事例校による先進的な授業実践 ○デジタルスキルトレーニング、人材交流、情報リテラシー教育の実施等 <p>(4) 家庭の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○HP 等による情報発信 ○PTA 連絡協議会等と連携した様々な機会・媒体を活用しての情報発信 ○モバイル Wi-Fi ルーターの無償貸出 				
事業目標 成果指標	授業にICTを活用して指導することが「できる」「ややできる」と回答する教員の割合を80%以上にする。		R3 実績	R4 実績	R5 目標値
			65.4%	65.6%	75.0%



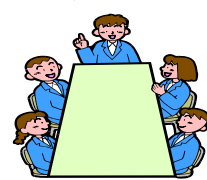
重点事業 9

事業名	教育支援総合対策事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	新規	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			—	—	6,846 千円
事業目的	学校だけでは解決が困難ないじめの問題・不登校等の児童生徒・保護者・学校が抱える様々な問題に対して、教育相談体制の充実強化を図り、一人ひとりに対するきめ細かな支援を行う。				
事業内容	<p>① 子どもの困りごとの多様化・複雑化を踏まえ、各分野の専門家からなる学校問題解決支援チームによる相談体制を確立し、学校に対し助言を行う。</p> <p>② スーパーバイズやマネジメントにより高度複雑多岐にわたる事案に組織的に対応できるよう、SCやSSWの教育相談力の強化を図る。</p> <p>③ いじめや不登校、発達障害、貧困、問題行動など多様化・複雑化する事案の増加に対応するため、スクールアドバイザーを派遣する。</p> <p>④ いじめの問題に対し、中立的な立場から重大事案の調査検証や報告を行う「いじめ等防止対策委員会」を常設する。</p> <p>⑤ 不登校児童生徒に対するアプローチ体制の充実のため、不登校対応方針策定の検討委員会を設置する。また、不登校期間中に相談・指導を受けていない児童生徒等に対する効果的なアプローチ方法について研究を委託する。</p>				
事業目標	不登校児童生徒の中で学校内外の機関等での相談・指導を受けていない児童生徒の割合が R4 年度を下回る。	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
成果指標		—	29.7%	R4 年度以下	

重点事業 10

事業名	小学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			13,044 千円	16,374 千円	20,870 千円
事業目的	<p>小学校において、不登校及び不登校傾向等の児童に対する早期からの支援を充実させることで、不登校や不登校傾向等の解消を図る。</p>				
事業内容	<p>① 不登校及び不登校傾向の早期の解消を図るため、小学校に生徒指導サポーターを配置する。(R5年度は4校拡充して27校に配置)</p> <p>② 生徒指導サポーターの主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校及び不登校傾向のある児童・保護者への家庭訪問や支援 学級担任、生徒指導担当などの教職員との連携による児童への支援 民生委員・児童委員、関係機関等との連携を図ったうえでの保護者や児童への支援 <p>③ 生徒指導サポーター研修会の実施</p> <p>児童の状況や生徒指導サポーターの役割についての講話、各学校の取組の交流などを行い、支援の充実を図る。</p>				
事業目標 成果指標	不登校児童の割合が全国 平均以下	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 1.2 全国 1.3	市 未発表 全国 未発表	全国平均 以下	

重点事業 1 1

事業名	中学校不登校対応総合推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			30,827 千円	30,903 千円	36,047 千円
事業目的	中学校の不登校や不登校傾向にある生徒に校内での居場所をつくり、生徒指導、進路指導及び学習支援等を通して、社会的自立に向けた支援を行う。				
事業内容	<p>① 不登校及び不登校傾向の生徒に向けた校内の居場所をつくるため、全ての中学校に校内教育支援教室を設置し、校内教育支援教室支援員を配置する。</p> <p>② 校内教育支援教室では、学習支援を行い生徒の進路獲得を目指すとともに、相談活動を通して生徒のストレスの軽減や不登校の原因を探り、社会的自立に向けた適切な支援を行う。また、生徒・保護者と学校との連携体制づくりの支援にあたる。</p> <p>③ 校内教育支援教室支援員を対象とした研修会を行い、実態の把握や各学校の取組の交流を通して、効果的な校内教育支援教室の運営を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #d9ead3; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto 20px auto;">校内教育支援教室</div> <p>不登校・不登校傾向の生徒に校内での居場所をつくり、社会的自立に向けた支援を行う。</p>  <p>校内の居場所 ↑</p> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #d9ead3; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto 20px auto;">校内教育支援教室支援員</div> <p>学習支援や教育相談活動ができる者として、校長の推薦により教育委員会が認める者 (※2名体制を、よりきめ細やかな対応をしていくため、3校に1名ずつ増員)</p>  <p>↓ 社会的自立に向けた支援・学校内連携</p>  </div> </div>				
業目標 成果指標	不登校生徒の割合が全国平均以下	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 3.8 全国 5.0	市 未発表 全国 未発表	全国平均以下	


重点事業 1 2

事業名	教育支援教室らるご久留米運営事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 予算	R4 予算	R5 予算
			8,523 千円	8,160 千円	8,444 千円
事業目的	不登校の児童生徒に対し、校外のらるご久留米において、一人ひとりの状況に配慮した様々な体験活動や学習支援などを行い、心のエネルギーの回復を図ることによって、社会的自立に向けた支援を行う。				
事業内容	<p>① 成果指標は、R2 : 54.5%、R3 : 56.7%、R4 : 64.3% (R5.1 月末現在) となっている。そこで、次年度の成果指標 (70%以上) を達成するため、教育相談等をより丁寧に行うとともに、学級担任やSSW等と連携し、通級生へのアセスメントを行う。</p> <p>② コロナ禍で、体験活動も制限を受けていたが、今後は対策を講じながら体験活動の充実を図る。成功体験を通して、心の安定や心のエネルギーの回復を図る。</p>				
事業目標 成果指標	通級率 50%を超える通級生の割合	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		56.7%	64.3% (R5.1 月末)	70%以上	


重点事業 13

事業名	生徒指導充実事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			10,463 千円	20,667 千円	22,872 千円
事業目的	<p>中学校で生徒指導等に対応する教員が生徒指導の諸問題への早期対応と解決を図ることができる環境を整備する。また、生徒指導連絡協議会に対して活動助成を行う。</p>				
事業内容	<p>① 中学校で生徒指導等に対応する教員が、以下に示すような生徒指導上の諸問題に対応できるように非常勤講師を配置する。</p> <p>ア いじめ、不登校の未然防止や早期発見・対応の取組、問題行動の未然防止の取組と問題解消に向けた生徒への対応</p> <p>イ 保護者に対する支援・相談対応</p> <p>ウ 学校内におけるチーム指導体制の構築・支援</p> <p>エ 関係機関等との密接かつ良好な関係づくり</p> <div style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates a support network. At the top, three boxes represent '地域' (Community), '家庭' (Family), and '関係機関' (Related Organizations). '地域' includes the school district youth development council, principal's youth committee, and community center. '家庭' is represented by a house icon. '関係機関' includes other middle schools, child consultation centers, police, family courts, and youth development courses. Red arrows labeled '密接かつ良好な関係づくり' (Building close and good relationships) point from these three boxes to a central box '生徒指導に対応する教員' (Teachers responding to student guidance). Below this, another set of red arrows labeled '密接かつ良好な関係づくり' points from the teacher box to a large box '学校' (School). The '学校' box is divided into '生徒への対応' (Response to students) and '校内体制づくり' (Building school system). '生徒への対応' includes daily behavior observation and guidance, consultation, understanding of student behavior (prevention), direct guidance for problem behavior, and support for non-attendance. '校内体制づくり' includes building a team system, supporting staff, and staff training.</p> </div> <p>② 生徒の健全育成及び問題行動の防止を図ることを目的に活動する生徒指導連絡協議会に対し、活動助成を行う。</p>				
事業目標 成果指標	生徒 1,000 人当たりの いじめの認知件数が 全国平均以上	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 85.6 件 全国 54.9 件	市 未発表 全国 未発表	全国平均 以上	

重点事業 14-1

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (小・特別支援学校・高校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 7,349 千円	R4 予算 7,156 千円	R5 予算 7,156 千円
事業目的	<p>学校の教育相談機能を高め、いじめ問題の解決や不登校等の児童生徒の支援、及び発達障害等の教育上特別の支援を必要とする児童生徒の学校生活へのより良い適応を促すための支援、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図る。</p>				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置し、児童生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーの要請に基づき、小児リエゾンドクターが児童、保護者及び教職員へのカウンセリングを行う。</p> <p>③ 委託契約SCを増員し、市が任用するSCが緊急時に対応できる体制を構築する。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>小児リエゾンドクター 児童精神科医師が対応</p> <p>↑</p> <p>SCの要請に基づき小学校へ派遣</p> <p>福岡県臨床心理士会より推薦等を受けたスクールカウンセラー 又は市が任用するスクールカウンセラー</p> <p>↓</p> <p>月に1～4回程度(1日4時間)学校へ派遣</p> <p>↓</p> <p>市立の全小学校、特別支援学校、高校に配置</p> <p><R4年度配置状況> 年間40回 久留米商業 年間30回派遣 城島小 年間20回派遣 西国分小、京町小、鳥飼小、金丸小、東国分小、南小、合川小、上津小、 宮ノ陣小、荒木小、大善寺小、津福小、三瀧小、特別支援学校、南筑高校 年間10回派遣 上記以外の小学校、</p> </div>				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	R3 実績 市 80.0% 全国 83.4%	R4 実績 市 81.9% 全国 85.4%	R5 目標値 全国平均以上	

重点事業 14-2

事業名	スクールカウンセラー活用事業 (中学校)			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			9,050 千円	9,828 千円	9,828 千円
事業目的	<p>学校の教育相談機能を高め、いじめ問題の解決や不登校等の生徒の支援、及び発達障害等の教育上特別の支援を必要とする生徒の学校生活へのより良い適応を促すための支援、保護者の不安解消、医療機関との連携の充実を図る。</p>				
事業内容	<p>① スクールカウンセラーを市立の全中学校に配置し、生徒、保護者及び教職員等へのカウンセリング等を行う。</p> <p>② スクールカウンセラーは、毎週1回来校し、生徒・保護者・教職員へのカウンセリングや教育相談及び生徒指導部会等の会議に参画する。</p> <p>③ 県からの配置時間(週8時間4校、週4時間13校)に、本事業による配置(週4時間13校)を合わせて、全中学校に週8時間の配置を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>市立中学校におけるスクールカウンセラーの配置状況 (R4年度) (一週当たり8時間×35週)</p> <p>① 市と県による配置校12校 1校当たり(市4H+県4H)×35週 江南中・榎原中・牟田山中・高牟礼中・明星中・青陵中 荒木中・宮ノ陣中・田主丸中・屏水中・北野中・三潁中</p> <p>② 県による配置校4校 1校当たり(県8H×35週) 城南中・良山中・城島中・筑邦西中</p> <p>③ 県によるスーパーバイザー配置校1校 県4H×3回×35週 諏訪中に配置</p> </div> 				
事業目標 成果指標	全国学力・学習状況調査(設問がない場合は市学力・生活実態調査)で「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答の割合が全国平均以上	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		市 78.4% 全国 81.1%	市 82.2% 全国 82.9%	全国平均以上	

重点事業 15

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			—	—	—
事業目的	学校・家庭・関係機関の協働体制を築くための支援を行い、困りごとを抱えた児童生徒がおかれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。				
事業内容	<p>① 社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有し、福祉サービスについての専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置する。</p> <p>② スクールソーシャルワーカーの活用によって学校・家庭・関係機関が協働して子どもたちの抱える困りごとの改善を図る。</p> <p>ア 困りごとを有する児童生徒について、福祉的な視点からの情報収集 イ 課題の分析（アセスメント） ウ 学校との協働による支援計画の作成 エ ケース会議開催のための個別的な支援方針や支援内容に係る調整 オ 学校、家庭、関係機関等による連携ネットワークの構築および連携のための連絡調整</p> <p>③ SSWの効果的な配置を図るモデル事業として1校区（牟田山中）で拠点巡回型による配置を行っている。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの役割</p>				
事業目標 成果指標	① 支援件数：前年度以上 ② 関係機関とのケース会議：前年度以上		R3 実績	R4 実績	R5 目標値
			① 201 件 ② 290 件	未発表	前年度以上

重点事業 16

事業名	学校施設の整備充実事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			小 399,607 千円 中 2,832 千円	小 2,546 千円 中 175,775 千円	小 13,939 千円 中 94,328 千円 (繰越含む)
事業目的	児童生徒が安全安心で快適な環境で学び、また、多様で新しい学習活動に対応した施設の整備を進めるため、学校施設の改修を計画的・効率的に行う。また、老朽化した建物の耐力度調査を行う。				
事業内容	<p>校舎等改築事業</p> <p>学校施設の老朽化と学校を取り巻く社会情勢の変化に対応するために、校舎等の改築を計画的・効率的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪中学校校舎改築事業【令和4年度より繰越：基本実施設計】 ・耐力度調査委託料3校（東国分小・合川小・荒木中） 				
	 <p>現在</p>		 <p>諏訪中学校新校舎イメージパース</p>		
事業目標 成果指標	各々の事業進捗率の目標値の達成	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		◆改築事業 篠山小（防球フェンス工事等） 進捗：100% 京町小（旧校舎解体・防球フェンス工事等） 進捗：100% ◆増築事業 山川小（外構工事） 進捗：100%	◆改築事業 諏訪中（基本・実施設計等） 進捗：30%	◆改築事業 諏訪中（基本・実施設計等） 進捗：100% ◆耐力度調査委託 ・東国分小 ・合川小 ・荒木中 進捗：100%	

重点事業 17

事業名	学校施設の長寿命化事業			担当課	学校施設課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			小 293,439 千円 中 109,870 千円 特 32,968 千円 高 9,600 千円	小 502,327 千円 中 257,625 千円 特 79,299 千円 高 7,852 千円 (繰越含む)	小 345,932 千円 中 374,418 千円 高 1,646 千円 (繰越含む)
事業目的	学校施設における建替コストの縮減、改修時期の調整による財政負担の平準化、環境負荷の低減などを図るため、外壁・防水・便所改修、LED照明への改修等を行い、施設の長寿命化を図る。				
事業内容	<p>令和5年度 学校施設の主な整備内容 ※は設計を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎外壁改修工事1校(城南中) 校舎外壁改修【設計業務委託3校(田主丸小、青陵中、田主丸中)】 屋内運動場外壁改修工事2校(長門石小・諏訪中) 校舎内装材改修工事2校(御井小、山本小) 校舎防水改修工事3校(*金島小、*江南中、*城島中) 屋内運動場屋根改修工事1校(長門石小) 屋内運動場床改修【設計業務委託1校(久商)】 校舎便所改修工事2校(西国分小、三潞中) <ul style="list-style-type: none"> 【設計業務委託2校(善導寺小、川会小)】 LED改修工事6校(荘島小、金丸小、善導寺小、三潞小、諏訪中、明星中) <ul style="list-style-type: none"> 【設計業務委託4校(鳥飼小、上津小、城南中、北野中)】 グラウンド改修【設計(グラウンド・倉庫・擁壁)業務委託1校(江南中)】 <p>令和4年度の主な学校施設の整備実績</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁改修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>便所改修</p> </div> </div>				
事業目標 成果指標	外壁改修率及びトイレ改修率の上昇	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		外壁改修率 (モルタル落下対策) 92.9% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 82.1%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 93.2% トイレ改修率 (校舎ドライ化) 85.1%	外壁改修率 (モルタル落下対策) 94.2%予定 トイレ改修率 (校舎ドライ化) 86.3%予定	

重点事業 18

事業名	教職員研修事業			担当課	教育センター
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			10,240 千円	14,421 千円	15,904 千円
事業目的	教育の専門家として、自ら学び続ける教職員を育成するために、育成指標に基づくキャリアステージに応じた研修や本市の教育課題に対応した研修を計画的に実施し、教職員の実践的指導力の向上を図る。				
事業内容	<p>(1) 基本研修</p> <p>経験年数や職務に応じた資質能力の向上を図る研修（受講対象者を特定した悉皆研修）</p> <p>① 経年研修（14講座）</p> <p>教育公務員特例法に基づく、初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修のほか、経験年数に応じて教職員に必要な知識や技能（実践的指導力）、態度を養うための研修を行う。</p> <p>〈改善点・工夫点〉講義では、国や県の教育の動向に触れるとともに、受講者がより主体的に研修に参加できるように、演習や協議等、内容を吟味し、適宜取り入れる。</p> <p>② 職務研修（8講座）</p> <p>新たに任命された校長、副校長、教頭、主幹教諭等の研修及び新たに発令された主任主事の職務に関する専門的な研修を行い、学校経営能力や当該職務の遂行能力向上を目指す。</p> <p>〈改善点・工夫点〉職務の内容や役割を講義等でさらに明確に示すために、関係各課との連携を密に行う。</p> <p>(2) 課題研修（18講座）</p> <p>教育課題に基づき、各分掌業務を担当する教職員を対象として、職能に応じた専門的な知識・技能の習得と実践的指導力の向上を図る研修</p> <p>〈改善点・工夫点〉社会情勢、教育を取り巻く情勢、市の教育課題を考慮し、内容の精選・重点化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長、副校長、教頭を対象とした管理職研修 ・ 学力向上、いじめ・不登校への対応、安全安心な学校生活の確保など、様々な教育課題の解決を目指した研修 <p>(3) 専門研修</p> <p>① 短期研修（15講座）</p> <p>教科等の学習指導や生徒指導、人権・同和教育、学校運営等、教職員のキャリアステージに応じて専門性を高める研修（希望受講）</p> <p>② 断続研修（調査研究員と合わせて研修員50名以内）</p> <p>「学びをつなぐ授業」の充実に向けた教育力の育成を目指し、1年間を通じて断続的に授業力を高める研修を行い、各教科・領域における専門的な知識と指導力を持った学び続ける人材を育成する研修</p>				
事業目標 成果指標	研修アンケートで「役に立った」 (大変満足・満足)と回答した者の割合 95%以上		R3 実績	R4 実績	R5 目標値
			98.6%	99.4%	95.0%以上

重点事業 19

事業名	学校における働き方改革推進事業			担当課	教職員課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算 3,220 千円	R4 予算 10,184 千円	R5 予算 12,239 千円
事業目的	勤務時間を意識した働き方改革を進め、教職員の業務改善の取組を推進し、教員業務支援員の配置など勤務環境整備のための支援を充実させることで、教職員の多忙化解消を図る。				
事業内容	<p>① 正確な勤務実態の把握 IC タイムレコーダーの全校設置により、勤務実態の客観的把握を行う。</p> <p>② 勤務時間外の自動応答メッセージによる電話対応 時間外は業務に集中することを可能とするため、令和2年度から全校に設置。</p> <p>③ 学校閉庁日の設定 夏季休業期間のお盆前後の5日間を学校閉庁日とする。</p> <p>④ 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置 令和5年度は14学級以上の学校（23校⇒27校）を対象に、教材準備や消毒作業のサポートを行うスタッフを配置する。</p> <p>⑤ 時間外在校等時間の上限規制（令和3年度から） 時間外在校等時間の上限を超えないよう業務量の管理を行う。</p> <p>参考値 月80時間以上の超過勤務を行っている本市の教員の割合 ※令和元年度(5月から3月まで)の平均…小学校9.9% 中学校19.6% ※令和2年度(4月から3月まで)の平均…小学校5.4% 中学校12.9% ※令和3年度(4月から3月まで)の平均…小学校5.3% 中学校11.4% <参考>平成29年度文部科学省による調査…小学校33.5% 中学校57.6%</p>				
事業目標 成果指標	ストレスチェック実施率を向上させ、ストレス要因として事務的な業務量をあげる職員を10%以下にする。	R3 実績 実施率：97.0% 事務的業務量：15.0%	R4 実績 実施率：96.0% 事務的業務量：16.0%	R5 目標値 実施率：100.0% 事務的業務量：10.0%	

重点事業 20

事業名	学校 ICT 環境整備事業			担当課	教育 ICT 推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			138,672 千円	141,200 千円	349,245 千円
事業目的	<p>①ファイル共有サーバの設置や学校イントラネット環境の運用により、データの保護やセキュリティを強化するとともに、優れたデジタルコンテンツ等の情報の共有化を促進する。また、統合型校務支援システムの運用により、校務の効率化に資する。</p> <p>②次期校務環境の構築を行い、教育情報の安全かつ適正な管理運用や教職員の負担軽減による働き方改革の推進につなげる。</p>				
事業内容	<p>1 現行校務支援システムの維持管理 市立小・中・特別支援学校及び教育委員会で安全にデータ通信を行う学校イントラネット環境の安定的な運用を行い、活用を促進する。</p> <p>(1) 学校における学習指導や家庭学習に役立つ教材等の共有</p> <p>①学習指導案や ICT 教材等を保存し、学習指導に役立てる。 特に、保存しているコンテンツについて、教職員に積極的に周知し、その活用を促進する。</p> <p>②補充教材を保存し、補充学習や家庭学習に役立てる。</p> <p>(2) 教職員研修教材の発信 教育センターにおける調査研究の成果物や研修教材、外部講師の講話資料等を保存し、校内研修での活用を促進する。特に、調査研究の成果物については、集合研修の講義の際に活用するよう留意する。</p> <p>2 校務支援等システムの運用保守 児童生徒の情報（成績処理、転出入・出欠管理等の学籍関連事務、指導要録、保健関係事務）をデータベース化し、学習指導や生徒指導に活用することにより、校務の効率化を図る。</p> <p>3 学校サーバー一元化の運用保守 データの保護、セキュリティの強化のために一元化した学校サーバの安定的な運用保守を行う。</p> <p>4 次期校務系環境の構築 現行の校務系ネットワークと学習系ネットワークを一本化することで、業務の効率化及び整備・運用経費の低減を図る。</p>				
事業目標 成果指標	①学校イントラネット 共有化指導案総数 410 件以上 ②校務支援等システム 支援件数 1 日平均 24 件以下	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		①指導案数 年 9 件 総数 348 件 ②28.5 件	①指導案数 年 28 件 総数 363 件 ②22.3 件	①指導案数 年 12 件 総数 360 件 ②24 件以下	

重点事業 2 1

事業名	小・中学校コミュニティ・スクール (久留米版) 推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 25,534 千円	R4 予算 24,369 千円	R5 予算 24,259 千円
事業目的	学校・家庭・地域が協働して行う様々な体験活動や教育活動を充実することで、地域の教育力を学校運営に取り入れ、地域とともにある学校づくりを推進する。				
事業内容	<p>① 社会に開かれた教育課程の実現のため、地域人材の活用や地域での体験活動の充実を図り、学校規模に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>② 各学校の教育課題に対し、家庭・地域と協働して解決に取り組めるよう地域学校協議会から学校・家庭・地域それぞれに提言を行い、それを実働化させるための地域学校協議会プランの計画内容に応じた補助金の交付を行う。</p> <p>③ コミュニティ・スクールモデル校には、学校運営協議会制度の検証及び地域学校協働活動に対する経費の補助金を交付する。また、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置や学校運営協議会委員の委嘱、コミュニティ・スクール先進校への視察等を行うことができるよう助成する。</p> <p style="text-align: center;">学校が抱える教育課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>地域学校協議会 課題の共有 学校・家庭・地域への提言</p> <p>学校運営協議会 目標・ビジョンの共有 地域学校協働活動についての提言</p> <p>コミュニティ・スクール推進委員会 学校・家庭・地域の役割の確認と取組の具体化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学校規模に応じた 交付金の活用 創意工夫を生かした 特色ある学校づくり に関する費用</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>地域学校協議会及び 学校運営協議会の提言に 応じた交付金の活用 学校・家庭・地域が協働して 課題解決活動を推進する ための費用</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>地域学校協議会委員 及び学校運営協議会 委員・地域学校協働 活動推進員への報酬</p> </div> </div> <p>働きかけ</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>地域</p> <p>↓ 実働</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>← 協働 →</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学校</p> <p>↓ 実働</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>← 協働 →</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>家庭</p> <p>↓ 実働</p> </div> </div> <p>学校が抱える教育課題の解決</p> </div>				
事業目標 成果指標	各学校の地域学校協議会提言及び地域学校協働活動の取組の達成率が前年度以上	R3 実績 69.3%	R4 実績 71.9%	R4 目標値 前年度実績以上	

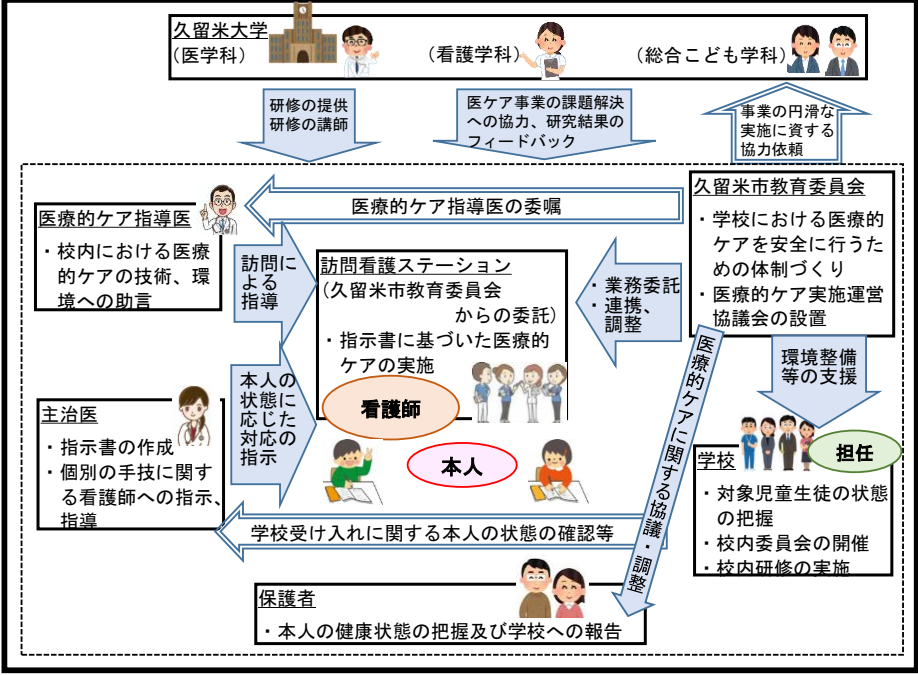
重点事業 2 2

事業名	人権教育・啓発推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			5,739 千円	6,600 千円	6,600 千円
事業目的	<p>自他の人権を守り、差別をなくす意志と実践力を身に付け、豊かな人権感覚をもった市民・児童生徒の育成を図るために、学園コミュニティ（保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校他）及び地域コミュニティ（家庭、小学校区人権啓発推進協議会、企業他）が連携・協働し、地域の実態や課題に応じた人権教育・啓発活動を推進する。</p>				
事業内容	<p>① 児童生徒一人ひとりの進路・学力の保障、人権尊重の理念の理解・体得を図るために、学園コミュニティでの取組（校種間の連携の中で、連絡会・授業公開・実践レポート交流会・人権カリキュラムの検討・研修会等の開催）への支援を行う。</p> <p>② 地域コミュニティが行う（家庭、地域住民、企業等が参加する人権講座等の開催）への支援を行う。</p> <p>③ 同和問題、女性、障害者、外国人等の人権課題を解消し、多様性を尊重する主体者を育成するために、学園コミュニティと地域コミュニティとが協働して行う取組（人権フェスタ、人権講座、人権フィールドワーク等）への支援を行う。</p> <div style="text-align: center;"> </div>				
事業目標 成果指標	各中学校区人権のまちづくり推進協議会の活動の活性化を図り、「人権意識を高めたい」市民の割合 56%以上	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		58.2% 【参考】 市民意識調査	55.2% 【参考】 市民意識調査	60%以上 【参考】 市民意識調査	

重点事業 2 3

事業名	食育プログラム研究推進事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			722 千円	401 千円	390 千円
事業目的	子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣、基本的な生活習慣を育成する。				
事業内容	<p>久留米市栄養教諭・学校栄養職員等の取組を生かし、充実発展させるため、以下の取組を行い、食育プログラムの研究を推進させる。</p> <p>(1) 食に関する指導の充実</p> <p>① 食に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等と給食を関連付け、家庭との連携を組み入れた指導計画の工夫 ・「久留米市食育教材」を活用した学級活動の授業づくり ・「食育だより」を通じた家庭との連携 ・子どもの食に関する実態の調査、分析 <p>② 食に関わる掲示物の作成、朝ごはんレシピカード・調理動画の作成</p> <p>③ 食育プログラムの作成</p> <p>④ 栄養教諭等未配置中学校への出前授業</p> <p>(2) 学校給食の充実</p> <p>① 衛生管理実地研修会の実施</p> <p>② 久留米市学校給食管理マニュアルの作成・活用</p> <p>③ 献立年間計画の作成</p> <p>(3) 学校・家庭・地域との連携</p> <p>① 教職員向けリーフレットの発行</p> <p>② 食育推進支援事業や親子料理教室の開催、食育啓発パネルの展示</p>				
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>食に関する知識と望ましい食習慣を身に付け、適切に朝食を摂取し健康の保持増進を図ることができる子どもの育成</p> </div>				
事業目標 成果指標	朝食を食べない児童生徒の割合（朝食欠食率）が前年度以下	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		小学校 2.1% 中学校 2.5%	小学校 2.0% 中学校 2.3%	前年度実績以下	

重点事業 2 4

事業名	医療的ケア対応事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算 35,410 千円	R4 予算 51,709 千円	R5 予算 61,925 千円
事業目的	医療的ケアを必要とする児童生徒に対応するため、小中学校及び久留米特別支援学校に看護師を配置し、医療機関と連携した医療的ケアを実施することによって、子どもの状況に的確に対応できる安全な教育環境の整備を図る。				
事業内容	<p>① 久留米特別支援学校に在籍し、医療的ケア（吸引・経管栄養・導尿等）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和5年度20人）</p> <p>② 小中学校に在籍し、常時の医療的ケア（吸引・人工呼吸器の管理）を必要とする児童生徒を対象とする。（令和5年度：小2人、中1人）</p> <p>③ 業務委託によって事業所から看護師を派遣する。</p>  <p>久留米市立学校医療的ケア実施運営協議会 (協議会) (構成員) 学識経験者 医療関係者 保健・福祉等関係者 学校関係者 行政職員</p> <p>(掌握事項) ①医療的ケアの実施運営上の課題に関すること ②児童生徒の安全を確保する医療的ケアの具体的な実施体制に関すること ③次年度の学校における医療的ケア実施の可否に関すること ④その他、目的を達成するために検討が必要な事項</p>				
事業目標 成果指標	医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに対応できる看護師を配置する	R3 実績 必要数 14人 配置数 14人	R4 実績 必要数 18人 配置数 18人	R5 目標値 必要数 18人 配置数 18人	

重点事業 25

事業名	中学校美術教育振興事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 2,127 千円	R4 予算 2,768 千円	R5 予算 2,646 千円
事業目的	中学生の美術に関する興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育む。				
事業内容	<p>① 久留米市美術館における企画展・常設展の鑑賞のために、中学校1年生の生徒が移動するためのバスの借り上げを行う。</p> <p>② 事業実施後に、生徒アンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及に努める。</p>				
事業目標 成果指標	市学力・生活実態調査(中2)において「自分が住んでいる地域が好きである」の肯定的回答の割合の増加	R3 実績 85.3%	R4 実績 86.0%	R5 目標値 回答の割合が増加する	

重点事業 2 6

事業名	学校規模対策事業			担当課	学校教育課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 3,683 千円	R4 予算 1,062 千円	R5 予算 233 千円
事業目的	<p>市立小学校では、学校規模に偏りが生じ、児童の教育活動や学校生活上の影響が懸念されることから、小規模化や大規模化が進む学校規模の適正化に向けた対策を進める。</p> <p>また、小規模化の観点に加えて、学校施設の老朽化の状況も踏まえ、改定した久留米市小学校小規模化対応方針（令和5年2月改定）に基づき、学校統合の取組を進めることで、より良い教育条件・教育環境の整備を図る。</p>				
事業内容	<p>① 青峰小学校と高良内小学校を対象とした「第2次久留米市立小学校統合基本計画【案】」について、保護者や地域住民と協議を行い、令和7年4月の統合に向けた協議・調整を進める。</p> <p>② 改定した「久留米市立小学校小規模化対応方針」に基づき、対応方針の内容とともに、児童生徒数の推計や学校施設の老朽化について、広く市民への周知を行い、情報の共有を図る。</p> <p><市立小学校の児童数学級数の推移></p>				
事業目標 成果指標	小規模化が進む小学校における学校規模の適正化に向けた対策と小規模校における学校施設の老朽化への対応を進める	<p>R3 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今後の小学校統合の対応検討 ○下田・浮島・城島小学校統合後の検証 ○小学校小規模特認校制度の廃止 	<p>R4 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下田・浮島・城島小学校統合検証結果報告書の作成 ○久留米市立小学校小規模化対応方針の改定 ○第2次久留米市立小学校統合基本計画【案】の策定 	<p>R5 目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第2次久留米市立小学校統合基本計画の決定と統合準備協議会の設置 ○対応方針の内容や児童生徒数の推計、学校施設の状況について市民との情報共有 	

重点事業 27

事業名	地域生涯学習振興事業（委嘱学級）			担当課	生涯学習推進課
事業種別 ※以下から選択 （新規・拡充・継続）	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			6,888 千円	7,505 千円	7,695 千円
事業目的	<p>市民が暮らす一番身近な地域である校区を単位として、教養の向上、健康福祉の増進、人権・同和問題や男女共同参画、環境、防災等の市民ニーズや地域課題に応じた生涯学習活動を推進し、事業を通じた地域コミュニティづくりを図るため、校区コミュニティ組織に対して、委嘱学級の運営に係る財政支援や指導者養成などの支援を行う。</p>				
事業内容	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[市] -- "運営支援・開設支援 1学級あたり 95,000 円補助" --> B[校区コミュニティ組織] B --> C[委嘱学級] </pre> </div> <p>広く市民に開かれた委嘱学級を実現するために要件を定めている。</p> <p>【学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習時間 年間 12 回以上計画（1 回 2 時間程度） ◆学級編成 1 学級 15 人以上（新入生加入に努める） <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級 ・女性学級 ・まちづくり学級 ・家庭教育学級 など <p>【学習単元】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題（必修） ・男女平等に関する問題（必修） ・健康課題 ・ボランティア ・地域課題 ・ICT に関する内容 ・福祉課題 ・環境課題 ・防災 など <p>学習実績をまとめた冊子を作成して各学級に配布することや、学級の優秀事例発表や学級運営の課題と工夫を情報交換する場を設けた委嘱学級交流会を開催することで、学級運営の参考にさせていただき、充実した講座内容となるよう支援していく。</p>				
事業目標 成果指標	校区委嘱学級の充実	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 80 学級 ・委嘱学級交流会 0 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 79 学級 ・委嘱学級交流会 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱学級数 79 学級 ・委嘱学級交流会 1 回 	

重点事業 28

事業名	体験活動推進事業（少年の翼事業）			担当課	生涯学習推進課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 0 千円	R4 予算 2,900 千円	R5 予算 2,900 千円
事業目的	次代を担う子どもが集い、本研修を中心に数回の研修を通じて友情を深めながら、団体生活の楽しさを学び、団体や地域の活動に積極的に参加する子どもを育成することを目的とする。また、青年ボランティアの発掘及び機会提供を行い、次世代リーダー育成を促進する。				
事業内容	①指導員募集		②研修生(子ども)募集	③指導員研修	
	3月中旬～ 4月下旬		4月中旬～ 5月上旬	5月下旬～ 6月下旬	
	対象：18歳～ 39歳 (高校生除く) 人数：20名程度		対象：小学5年生～ 中学生 人数：40名程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導員同士の人間関係づくり ● 安全管理に対する意識づくり ● レクリエーション研修 ● 普通救命講習 	
	↓		↓		↓
④事前研修		⑤本研修		⑥事後研修	
7、8月(3日) 市内		8月(4泊5日) 沖縄		10月(1日) 市内	
<ul style="list-style-type: none"> ● 協力し合える関係づくり ● 集団生活における規律の共有 ● 自然・平和学習 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地元小学校との交流 ● 沖縄の海での自然体験 ● ひめゆりの塔での平和学習 		<ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえり 	
↓		↓		↓	
研修生(子ども)		<ul style="list-style-type: none"> ★ 学年や学校を超えた交流によるコミュニケーション能力 ★ 自ら考え行動する自立心 ★ 仲間を思いやれる優しさ ★ 新しいことに挑戦する意欲 ★ 地域・学校の活動に進んで参加する積極性 			
指導員		<ul style="list-style-type: none"> ★ 体験活動事業の運営についてのノウハウの習得 ★ 指導者としてのスキルの習得 ★ 地域活動への貢献 ★ 幅広い交友関係の構築 			
今後の改善・工夫点		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生の自立心、チャレンジ精神を育むための研修プログラムの構築支援。 ・ 研修生及び指導員が参加しやすい研修日程の検討。 ・ with コロナ時代に向けた事業の検討 			
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の地域や学校等行事への参加意欲度 ・ 指導員の事業継続参加意欲度 ・ 次年度実施に向けた実行委員会の開催 	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		※ 新型コロナウイルス拡散防止の為中止	参加者 91% 指導員 78% 委員会 3回	参加者 95% 指導員 75% 委員会 3回	

重点事業 29

事業名	歴史資料保存活用事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 予算	R4 予算	R5 予算
			9,251 千円	7,717 千円	8,035 千円
事業目的	歴史資料の保存と活用を進めることにより、市民がふるさとの歴史や風土など地域の歴史文化を学び、生涯を通じた学習の素材として活用し、郷土愛の醸成と地域文化の未来への継承を図る。				
事業内容	<div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00; margin-bottom: 10px;"> 歴史資料の保存と活用 </div> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の歴史文化を学ぶための資料の調査・収集を行い、保存・修復及び適正な収蔵・保管に努める ② 収蔵資料を効果的に活用するため、展示・公開を図ることにより、郷土の歴史に関する市民の意識高揚を図り、地域文化の継承に役立てる <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e6e6fa; margin-bottom: 10px;"> 地域の歴史と文化の理解 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>学校と連携し、むかしの暮らしを学び、久留米の成り立ちや風土を考える機会となる企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>生涯学習の一環として、既存の展示スペースを使用した久留米の歴史を学ぶ企画展を実施する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 30%; text-align: center;"> <p>発掘調査や歴史資料の収集等による資料を整理・保存・管理・活用し、地域の文化を次世代につなぐ一助とする。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今後の改善項目 学校現場や地域との連携を強化し、情報発信、資料の貸し出し等の利用を増やしていく。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="text-align: center; border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #ffff00; margin-bottom: 10px;"> 郷土愛の醸成と地域文化の未来への継承 </div>				
事業目標 成果指標	歴史資料の調査・保存・修復・収集・購入 歴史資料の活用 収蔵施設の整備 歴史資料のデータベース化	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		企画展を2回実施する。	企画展を2回実施する。 新収蔵資料紹介コーナー（月毎）を実施する。	企画展を2回実施する。	

重点事業 30

事業名	筑後国府跡歴史公園整備事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			11,459 千円	36,867 千円	335,131 千円
事業目的	古代の役所跡である筑後国府跡を保存整備し、市民が身近な場所で歴史を感じるにより、地域や久留米市に対する愛着心を高めるとともに、歴史遺産としての価値と魅力を未来に向けて継承する。				
事業内容	<p>① 史跡の適正な管理を通じて保存を図る。維持的措置として草刈り・清掃・見回り等を実施し、また、災害等に際して復旧作業を行うなど保存的措置を講じる。</p> <p>② 令和元年度に策定した『保存活用計画』に則り、計画的な土地の公有化を推進するとともに整備基本計画の検討を行い、早期に歴史公園として整備を目指す。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[史跡の保存] --> B[史跡の保護] C[史跡の活用] --> B B --> D[国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える] </pre> <p> 史跡の保存 ・草刈り業務等による適正な管理 ・公有化の推進 ・保存活用計画の認定 </p> <p> 史跡の活用 ・ホームページ等による情報発信 ・史跡整備方針の検討 ・整備基本計画策定委員会の検討 </p> <p> 史跡の保護 歴史公園として史跡を整備することにより、憩いの場・地域活動の場・生涯学習の場・学校教育の場・歴史体験（探検）の場などを提供し、ライフステージのあらゆる場面での活用を図る。 </p> <p> 国指定史跡 筑後国府跡の価値と魅力を未来へ伝える </p> </div>				
事業目標 成果指標	・Ⅱ期政庁地区内の公有化1件と用地交渉の継続 ・草刈り等管理業務の実施 ・文化財保護法に基づく保存活用計画の認定	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		・物件等調査2件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画認定協議	・用地の公有化1件 ・管理業務の実施 ・保存活用計画に基づく活用（地域ワークショップの開催2回）	・用地の公有化3件 ・整備計画策定委員会の設置	

重点事業 3 1

事業名	歴史ルートづくり事業			担当課	文化財保護課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 予算 10,456 千円	R4 予算 3,715 千円	R5 予算 4,062 千円
事業目的	久留米市内に数多く存在する歴史・文化遺産を整理・集積し、積極的な情報発信を行うことで、その魅力について市民への再発見を促すとともに、交流人口の増加を目指す。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和 3 年度に国の認定を受けた久留米市文化財保存活用地域計画に基づく「筑後川遺産」制度の運用を開始する。 ○ 歴史・文化遺産などのスポットについて、久留米ならではの魅力が際立つものを、時代・歴史的背景・伝承などの共通項目(=テーマ)で結びつけ、興味を引くようなストーリーとして組み立てる。 ○ それらのストーリーを構成する各スポットを紹介するイベント等を通じ、久留米の歴史の魅力を伝え集客につなげる。 ○ エリア内の歴史遺産の調査を推進し、基礎資料を作成するとともに歴史的背景の検証によるエリア固有のストーリーを創出する。 ○ あわせて、ストーリーの要所となるスポット拠点、及びスポット間の行程の整備を行い、安心安全なルートを確保する。 ○ 令和 4 年度に新規に登録した筑後川遺産関連の展示やイベントを開催し、地域とともに歴史遺産の魅力発信に努めるとともに、新たな筑後川遺産登録への取組を進める。 ○ 本市の文化財マスタープランとして計画的かつ持続的な歴史や文化のまちづくりの実現を目的とした「文化財保存活用地域計画」の推進を目指す。 				
事業目標 成果指標	令和 7 年度までに新規に情報発信した歴史スポット数 180 箇所	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		ストーリーシート作成 1 件 文化財保存活用地域計画の国認定 情報発信した歴史スポット数 30 箇所	筑後川遺産制度開始 高良山シンポジウムの開催 情報発信した歴史スポット数 30 箇所	ストーリーシート作成 1 件 新規登録の筑後川遺産関連イベント開催 情報発信した歴史スポット数 30 箇所	

重点事業 3 2

事業名	MICE誘致推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算 75,509 千円	R4 予算 1,698 千円	R5 予算 1,333 千円
事業目的	オリパラ事前キャンプのノウハウを活かし、久留米アリーナ等を活用した大規模スポーツ大会等の誘致を推進する。				
事業内容	<p>① 大規模スポーツ大会誘致</p> <p>スポーツ協会をはじめ競技団体と連携して上部団体等への誘致活動に取り組み、市民にスポーツを「みる」機会を提供する。</p>  <p>② トップレベルチーム合宿誘致</p> <p>7人制ラグビーやバドミンントンの代表合宿などトップレベルチームの合宿を誘致するとともに、福岡県の合宿支援制度を活用するなど県との連携を図る。</p> <p>また、合宿中はスポーツ教室の開催や練習公開を行う。</p> 				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの実施、機運醸成 大規模大会の誘致 	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 五輪・パラリンピック事前キャンプ受入 大規模大会誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ホストタウンスポーツ交流 大規模大会誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模大会誘致 1 回以上 	

重点事業 3 3

事業名	市民スポーツ推進事業			担当課	体育スポーツ課
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	拡充	事業費	R3 決算 2,161 千円	R4 予算 5,684 千円 補正後 20,684 千円	R5 予算 7,799 千円
事業目的	<p>市民が、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるように、年齢、性別や障害の有無に関わらず、それぞれのライフステージや関心度合、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図ることで、スポーツ参画人口の拡大とスポーツ活動の活性化を目指す。</p>				
事業内容	<p>① ジュニアアスリート発掘・支援 次世代での活躍が期待されるジュニアアスリート（小学生から高校生）を発掘・支援することで、競技継続のモチベーションの向上を図るとともに、久留米を愛するトップアスリート輩出の一助とする。</p>  <p>トップアスリート強化認定選手等認定式</p> <p>② スポーツ機会の提供・充実 市民が日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図ることで、スポーツ参画人口の拡大スポーツ活動の活性化を目指すことを目的として、アスリートスポーツ教室や参加型イベント、子どもの体力づくり研修会等を開催する。</p> <p>③ ホストタウンスポーツ交流 ケニア共和国、カザフスタン共和国とスポーツを通じたホストタウン交流を深めるため、日本在住の両国アスリートによるスポーツ教室を行う。また、ケニアとの国交樹立 60 周年に因み、スポーツ交流を交えた講演会を実施する。</p> <p>④ 障害者スポーツの普及促進 障害の有無に関わらず誰もがスポーツを楽しむ、生き甲斐が持てる社会を実現するため、また障害者スポーツに対する理解度を高め、共生社会の更なる実現を図るため、パラスポーツに関する教室や体験会を開催する。</p> 				
事業目標 成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ賞の表彰者数 トップアスリート及びネクストトップアスリートの認定者数 	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
		<ul style="list-style-type: none"> ジュニアスポーツ賞 10 名+1 団体 トップアスリート認定 8 名 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアアスリート褒賞 30 名+3 団体 トップアスリート認定 7 名 ネクストトップアスリート認定 2 名 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアアスリート褒賞 20 名+5 団体 トップアスリート認定 8 名 ネクストトップアスリート認定 2 名 	

重点事業 3 4

事業名	子どもの読書環境整備事業			担当課	中央図書館								
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算								
			4,774 千円	5,977 千円	4,890 千円								
事業目的	<p>① 久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが読書を通じて心豊かな生活を送れるよう読書習慣の定着を進めるための環境を整備する。</p> <p>② 子どもと絵本をつなぐきっかけづくりを目的として、子どもの健やかな成長を願うブックスタート事業を実施する。</p>												
事業内容	<p>計画の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭・地域、学校等、行政の連携・協働の推進 2. 子どもの読書活動のための環境整備の充実 3. 子どもの読書活動推進を支える理解と関心の普及・促進 <p>5 2 の施策</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家庭・地域</th> <th>幼稚園・保育所 認定こども園</th> <th>学校</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)</td> <td>読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)</td> <td>読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)</td> <td>児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">子どもの読書活動を社会全体で支えていく</p> <p style="text-align: center;">第 4 次子どもの読書活動推進計画の実施 (R 2 ~ R 7)</p> <p>令和 4 年度はコロナ禍で中止していた市立図書館・学校図書館合同研修会、ビブリオバトル、読み聞かせボランティア研修会などを再開した。令和 5 年度は引き続き、さまざまな読書推進の施策に取り組むとともに、第 4 次計画の新規施策である読書が困難な子どもたちに向けてのサービスや、中高生が本に関心を高める取り組みの支援を行っていく。</p>					家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館	ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)
	家庭・地域	幼稚園・保育所 認定こども園	学校	図書館									
ブックスタート 家読の推進等 (13 項目)	読み聞かせ実施 絵本スペース整 備等 (3 項目)	読書活動の推進 司書教諭・学校司 書の配置及び研 修充実等 (5 項目)	児童図書整備 読書が困難な子 どもへのサービ ス 読書相談カウンター設 置等 (29 項目)										
事業目標 成果指標	※児童書・絵本などの貸出冊数 (市民センター図書室等を含まない)	R3 実績	R4 実績	R5 目標値									
		475,751 冊	554,549 冊	570,000 冊									

※令和 5 年度より児童書・絵本などの貸出冊数に変更 (令和 4 年度までは児童書・絵本などの蔵書数)

重点事業 35

事業名	図書館整備事業			担当課	中央図書館
事業種別 ※以下から選択 (新規・拡充・継続)	継続	事業費	R3 決算	R4 予算	R5 予算
			335,641 千円	108,468 千円	117,899 千円
事業目的	<p>快適な読書空間の提供と図書館機能の充実に向け、その基盤整備及び利用者サービスを図り、生涯学習ニーズに対応する。</p>				
事業内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 図書館整備・図書館資料の充実 </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>○図書館施設・機能の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全確保・計画的補修による施設の長寿命化、備品の整備 ・資料の購入：図書及びAV 約23,000点、雑誌 約500点 ・広域連携による電子図書館システムの導入 ・利用者エレベーターの更新 <p>○読書バリアフリー法を踏まえた市民との協働による視覚障害者等を支援するサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとの協働→音訳点訳図書の製作やサピエ活用、対面朗読の実施 </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">◎図書館サービスの充実 ◎利用者・貸出冊数の増加</p> </div> <p>令和5年度は、引続き図書資料の充実を図るとともに、スマートフォン等の端末を用いて、電子書籍の貸出・返却等ができる電子図書館システムの導入を行う。導入にあたっては、久留米広域連携中枢都市圏（久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町）の4市2町で、連携して取り組む。福祉サービスは、福祉ボランティアとの協働により、継続して音訳図書や点訳図書を作成し、視覚障害者等への読書支援を行う。また、来館困難サービスとして、移動図書館や団体貸出、宅配サービスについても効果的な活用を行う。</p>				
事業目標 成果指標	貸出者数：360,000人	R3 実績	R4 実績	R5 目標値	
	貸出冊数：1,470,000冊 (市民センター図書室等を含まない)	312,326人 1,230,284冊	359,981人 1,388,522冊	365,000人 1,400,000冊	